

チャランゴの選び方



アンデスの家ボリビア

(※きちんとチューニングした上で…)

1. いくつかの同じコード進行を、気になった複数の楽器で試す。

- ・ リズムを弾いたりせず、まずは親指でしっかりと弾き下ろすことで、楽器のバランスを確かめます。

2. すべての弦をつま弾いてみる。

- ・ しっかりとしたタッチで！音の立ち上がりや、余韻の長さを確認します。

3. 曲を弾いてみる。

- ・ 一曲弾くあいだに、最初の印象が変わってくると思います。

4. 出来るかぎり小さな音で弾いてみる。

- ・ 大きな音の出る楽器に心を奪われがちですが、ごく小さな音が美しく通ることが、名器の大切な条件です。

5. 気に入った楽器が絞られてきたら、すべての弦のすべてのフレットで音を出してみる。

- ・ その楽器の今の状態を知ることができます。

6. 最後は…直感です!!!

- * 楽器を選ぶ時には、自分の出す音を他の人にも聞いてもらって、意見を聞くことをお勧めします。演奏を聞いてくれるのは、楽器の向こうにいる人たちですから。
- * 弾き易さは大切な要素ですが、それだけで決めないようにしましょう。楽器は演奏者を育ててくれます。弾きにくさは、演奏者の欠点かもしれません。
- * 楽器も演奏者とともに成長します。弾けば弾くほど、演奏する人が発する音に反応する楽器になって行きます。チューニングはいつも正確に、常に良い音をイメージして、しっかりと弾く練習を心がけてください。良い楽器は、必ず応えてくれます。

